

## Sさんの心理状況の変化

2008年(57歳)

- 7月 インスリン導入時も落ち着きがなく、インスリン操作もぎこちない。インスリン注射と言われショック。
- 8月 ダイヤル操作に自信がない。きちんと注射できているか不安とイライラした表情。抗GAD抗体陽性と判明も病態について正確には理解できない様子。
- 9月 注射をしているのに血糖が上がっていると不満を訴える。
- 10月 頻回注射に移行。緩徐進行1型糖尿病について臨床検査技師が説明するとようやく納得できたと発言あり。注射手技を確認するとダイヤル設定の間違いあり。
- 12月 4回注射にもようやく慣れ、気持ち的に楽になった。

2009年

- 3月 職場にも告知し、昼のインスリン注射できている。
- 4月 1～2か月ごとに管理栄養士による栄養相談を受ける。
- 5月 間食を減らした。補食について質問される。
- 7月 血糖が改善し、しびれもよくなった。
- 8月 食後2時間で血糖が低かったので補食した。

### ショック期

事実を受け入れられない時期

### 悲嘆期

事実を認知し、強い悲しみを  
感じる時期

### 解消期

新しい適応を  
求める時期